平成 28 年度事業報告書

社会福祉法人大里ふくしむら

＜総　括＞

平成２８年度は、前年度に行われた介護保険制度改正の影響や、利用者の介護保険一部負担割合の増加、および負担限度額認定要件の厳格化など、サービス利用者にとって更なる負担を強いられる年となった。結果的には、稼働率において、特養およびショートステイの入所部門で前年を大きく上回ることとなったが、これは看取り介護の推進などによる影響が大きく、入所待機者の大幅な減少もあり楽観することは出来ない。デイサービスの利用者数減少や、居宅介護支援事業利用者について増加がみられないことについても、要介護認定者の増加や介護保険サービスの在宅シフトを推進していることを考慮すれば、その原因や今後の方針について検討することが必要だと思われる。一方で、慢性的な人手不足も深刻となりつつある。特に、夜勤可能な正規職員の採用は難しく、平成２１年度から処遇改善に積極的に取り組んでいるが、社会的な人手不足の中、打開策を見出すことは困難である。

平成２９年４月には、社会福祉法人制度の改革を目的とした、改正社会福祉法が施行される。これは、経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化など、社会福祉法人にとって相当厳しい内容となっている。法人への規制強化、現場での職員不足、そして利用者の負担増加と、大変困難な状況ではあるが、社会福祉法人として、様々な地域福祉へのニーズに対応し、質の高い施設づくりを進めるため、今後も継続的に改善・改革への努力が必要である。

＜主な事業実績＞

月	法人本部	特養・ショート	デイサービス	居宅介護支援
4月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月２回) お花見外出	施設運営会議 各種委員会活動 お花見外出	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
5月	決算監査 理事会・評議員会 (決算・事業報告) (その他諸報告)	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月２回) 鯉のぼり飾り 花ぞのだより発行	施設運営会議 各種委員会活動 運動会 グラウンドゴルフ大会	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
6月	資産変更登記 現況報告提出	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月２回) 利用者職員健康診断	施設運営会議 各種委員会活動 外食行事 職員健康診断	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
7月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月２回) 納涼祭	施設運営会議 各種委員会活動 納涼祭	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議

8 月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 花ぞのだより発行	施設運営会議 各種委員会活動	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
9 月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 用土地区敬老会 用土小交流事業① 花ぞの敬老会 消防避難訓練	施設運営会議 各種委員会活動 消防避難訓練	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
10 月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 寄居町ふれあい広場 日帰り旅行 花ぞのだより発行 用土小交流事業②	施設運営会議 各種委員会活動 外出行事 寄居町ふれあい広場 グラウンドゴルフ大会	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
11 月		施設運営会議 各種委員会活動 冬イルミネーション ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 用土小交流事業③	施設運営会議 各種委員会活動	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
12 月	理事会・評議員会 （第1次補正予算） （定款変更） （その他諸報告）	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) クリスマス会 用土小交流事業④	施設運営会議 各種委員会活動 クリスマス会	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
1 月	理事会 （次期評議員関連）	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 獅子舞	施設運営会議 各種委員会活動 初詣	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
2 月	評議員選任委員会	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 花ぞのだより発行 職員健康診断	施設運営会議 各種委員会活動 職員健康診断	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議

3月	理事会･評議員会 (来年度予算･事業計画) (資金運用について) (その他諸報告)	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月２回) 防災訓練	施設運営会議 各種委員会活動 ひな祭り 消防避難訓練	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議

＜職員の状況＞

・在籍状況（平成２９年３月３１日現在／人）

	介　護	看　護	相談員	支援 専門員	管理 栄養士	その他	合　計
常勤	37	3	2	4	1	6	53
非常勤	14	2	0	0	0	13	29
合　計	51	5	2	4	1	19	82

・入退職状況（平成２８年度／人）

	介　護	介護(非)	看　護	看護(非)	ケアマネ	その他	合　計
入　職	7	1	1	0	0	4	13
退　職	7	0	1	0	1	3	12

＜特別養護老人ホーム＞

特養では、看取り介護を推進した結果、入院者が減少し、稼働率が前年度に比べ大幅に上回る結果となった。また、ショートステイとの連携を積極的に行ったことにより、空床を減らすことが出来たことも稼働率増加の一因と思われる。

しかし、入所待機者が大幅に減少しており、入所者の確保が急務である。そのため、入所に関する情報の開示や各方面への定期的な連絡など、積極的に営業活動を行う必要がある。また、入所者の重度化への対応のため、介護士や看護師、ケアマネージャーなど専門職の連携が不可欠であり、カンファレンスの機能を高めていくための取り組みが必要である。

・入退所状況（人）

入所先		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	病院	1			1		1	1				3		7
	老健	1	1							1				3
	他施設等	1		1						1			1	4
	家庭		1	1	1						1	1		5
合計		3	2	2	2		1	1		2	1	4	1	19

退所先		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
退所	病院			1						1				2
	他施設等			1					1					2
	死亡	4	1		1	1	1		1		4		3	16
合計		4	1	2	1	1	1		2	1	4		3	20

・入所期間（平成２９年３月３１日現在／人）

	1年未満	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年	5年以上	合計
入所中の利用者の在籍期間	21	12	8	5	6	22	74

・年齢・性別（平成２９年３月３１日現在／人）

	～64歳	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳～	合計	平均	最低	最高
男	1	3	1	2	2	3	3	15	80.36	62	98
女	2	1	1	3	5	15	32	59	89.04	57	102
合計	3	4	2	5	7	18	35	74	86.72		

・要介護度（平成２９年３月３１日現在／人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男	0	1	4	7	3	15	3.80
女	0	3	12	24	20	59	4.02
合計	0	4	16	31	23	74	4.00

・受入れ地域（平成２９年３月３１日現在／人）

	男	女	合計	比率
寄居町･深谷市	12	46	58	78.3%
その他県内	2	11	13	17.6%
県　外	1	2	3	4.0%
合計	15	59	74	99.9%

・入所待機者状況（人）

	平成 26 年 3 月	平成 27 年 3 月	平成 28 年 3 月
要支援 1～要介護 2	20	0	0
要介護 3 以上	55	28	25
合　計	75	28	25

・稼働状況（特養のみ／人）

H28	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ人数	2177	2251	2188	2294	2306	2193	2284	2167	2270	2281	2066	2289	26766
稼働率(%)	96.8	96.8	97.2	98.7	99.2	97.5	98.2	96.3	97.6	98.1	98.4	98.5	97.7
H27	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ人数	2121	2176	2116	2280	2248	2118	2268	2157	2237	2215	2080	2193	26209
稼働率(%)	94.3	93.6	94.0	98.1	96.7	94.1	97.5	95.9	96.2	95.3	95.6	94.3	95.5

＜ショートステイ＞

ショートステイでは、前年に比べ稼働率は上がっているが、いわゆるロングショートの利用が多く、本来の短期利用希望者は減少しているところである。これは、他の事業所など宿泊サービスの選択肢が増えたことや、特養の待機利用という側面があり、長期の利用を望まれることが原因と思われる。

利用希望者の減少に対応するため、送迎時間や利用方法に柔軟性を持たせ、それぞれの利用者のニーズに対応することが必要である。また、居宅介護支援事業所など他事業所との協力関係を強化して、利用者の確保に努めることが重要である。

・稼働状況（ショートのみ）

H28	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実人員	17	20	19	15	16	20	17	18	14	14	18	18	206
延べ人数	202	232	207	220	211	239	221	233	202	167	167	195	2496
稼働率(%)	134.7	149.7	138.0	141.9	136.1	159.3	142.6	155.3	130.3	107.7	119.3	125.8	136.7
H27	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実人員	15	15	10	13	16	14	14	13	18	18	18	20	184
延べ人数	191	177	128	173	159	171	177	187	203	203	212	169	2150
稼働率(%)	127.3	114.2	85.3	111.6	102.6	114.0	114.2	124.7	131.0	131.0	146.2	109.0	117.6

・稼働状況（全体）

H28	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
特養 延べ人数	2177	2251	2188	2294	2306	2193	2284	2167	2270	2281	2066	2289	26766
ショート 延べ人数	202	232	207	220	211	239	221	233	202	167	167	195	2496
稼働率 (%)	100.2	100.1	99.8	101.4	101.5	101.3	101.1	100.0	99.7	98.7	99.7	100.2	100.2

・要介護度（年度合計／人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
男	0	0	5	2	2	5	0	14	2.50
女	0	0	6	6	13	5	6	36	2.97
合計	0	0	11	8	15	10	6	50	2.73

＜委員会活動等＞

・褥瘡感染症対策委員会

インフルエンザの発生を受けて、嘱託医や看護師など職種間で連携し拡大防止につとめた。利用者および職員に重度者は出なかったが、複数の感染者が出たため、全体での研修や現場のミーティングを行い、マニュアルなど全体的な感染予防対策の見直しを行った。

・サービス向上委員会

広報活動を通して、利用者および家族へ施設での生活の様子について知らせるとともに、介護保険制度などについての情報提供を図るなど、地域や家族へのコミュニケーションを通じ信頼関係の構築を図った。

・安全対策委員会

ひやり・はっと報告の集計、分析によりリスク管理を進めて事故の防止を図った。防災訓練等の計画実施を行い、防災備品の在庫管理も行った。

・機能訓練委員会

全体で行う体操などの機能訓練を見直した他、本人の希望に応じて個別の機能訓練を実施した。

・身体拘束廃止委員会

毎月のユニットでの見直し会議の他、毎月リーダー級以上の職員での検討会を開催し、身体拘束廃止または減少に向けて取り組んだ。

・行事レク委員会

季節行事である、鯉のぼり、七夕、クリスマスや日帰り旅行などを行い、施設での生活の充実を図った。また、クリスマスイルミネーションなど、利用者はもとより、地域の皆様に楽しんでいただけるような行事も行った。

＜デイサービス＞

デイサービスでは、前年度まで利用者の増加が続いていたが、今年度は１年を通して減少する結果となってしまった。理由としては、多くの日数を利用していた利用者の入院や施設入所などの影響が大きかったが、新規利用者が減少したことも一因である。デイサービスにおいては、競争が激化しているということがあるため、新規利用者を獲得するためには、幅広い積極的な営業活動や、サービスの差別化を図る必要がある。今後も利用者アンケートなどを行い、質の高い、「選ばれるデイサービス」づくりを進めていきたい。

・利用実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延べ人数	621	628	650	651	650	642	624	617	582	571	526	574	7336
営業日数	26	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	27	311
1 日平均	23.8	24.1	25.0	25.0	24.0	24.6	24.0	23.7	22.3	22.8	21.9	21.2	23.5

・要介護度（平成２９年３月３１日現在／人）

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	0	1	7	8	6	4	2	28
女	3	9	12	7	9	4	3	47
合計	3	10	19	15	15	8	5	75

8

・年齢別（平成２９年３月３１日現在／人）

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
男	0	0	1	8	6	5	1	21
女	0	1	2	8	13	12	18	54
合計	0	1	3	16	19	17	19	75

・地域別（平成２９年８月３１日現在／人）

	寄居町		深谷市	美里町	その他	合計
	用土地区	その他				
利用者数	47	24	2	2	1	75

＜居宅介護支援センター＞

今年度は、新規に地域包括支援センターが開設されたことに伴い、積極的に連携を図ることで要支援者の新規利用が続いた。しかし、担当利用者の施設入所や逝去などが多く、利用者数は前年度からあまり変わらない状況であった。今後も増加が予想される要支援者の受け入れが増えると予想されることから、地域包括支援センターとのさらなる協力体制が必要である。今後は、在宅支援を積極的に進めるため、介護者への交流事業の実施や、地域や事業者間の交流など、地域貢献活動を積極的に行う必要がある。

・要介護度（平成２９年３月３１日現在／人）

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	2	6	5	1	3	2	2	21
女	8	4	7	9	9	3	3	43
合計	10	10	12	10	12	5	5	64

・地域貢献事業の実施

６月に居宅介護支援利用者ご家族を対象に、介護者同士の交流や介護に関する悩みを話し合うなどの懇談会を実施。また、１０月には地元の地域支え合いの会と協力し「ふれあいいきいきサロン」をデイルームにて開催。職員がボランティアとして参加し、地域の皆さんと介護ロボット「パルロ」を使用したレクリエーションなどで交流機会をつくった。

＜ボランティア受入れ＞

今年度は、引き続き慰問や学生などのボランティアを積極的に受け入れた。用土小学校との交流では、昨年に引き続き施設での写生会や施設訪問の他、学校行事への参加も増え、相互交流が深まった。また、高校生の職場体験事業において、地元の高校生を受け入れることで新卒者の採用に繋げることが出来た。このため、今後も積極的に高校や専門学校などとの連携を図っていきたい。

施設慰問では、施設開放を推進した結果、地域の活動団体や個人など、多くの方に来所していただくことが出来た。今後、さらにＰＲを進め地域福祉への貢献を目的として、施設開放や交流の場としての活用を図っていきたい。

・中学生ボランティア体験（寄居中学校など４名）
・用土小学校５年生定期交流（３０名）およびその他活動
・人権擁護委員によるボランティア活動受け入れ（８名）
・利用者交流・雑用業務ボランティア（１名）
・高校生職場体験（２名）

・教員免許介護体験事業（大学生１名）
・お話ボランティア　虹の会（毎月第１火曜）
・ボランティア慰問
（あゆみ幼児園、ヘモレレフラスタジオ、フォークダンススマイル、尺八、民謡愛好会、童謡を唄う会、玉淀園、個人ボランティア１名）

＜研修事業＞
・外部研修

	研修名	参加者	主催	場所
4月	苦情解決セミナー	相談員	県社協	彩の国すこやかプラザ
5月	新任職員研修	介護職員	県社協	彩の国すこやかプラザ
	中堅職員研修	介護職員	県社協	彩の国すこやかプラザ
6月	チームリーダー研修	ユニットリーダー	県社協	彩の国すこやかプラザ
	褥瘡ケア研修	介護・看護	小川赤十字病院	小川赤十字病院
7月	摂食嚥下研修	管理栄養士	県社協	彩の国すこやかプラザ
	介護支援専門員研修	介護支援専門員	県社協	建産連研修センター
8月	メンタルヘルス研修	生活相談員	県社協	彩の国すこやかプラザ
	感染症基礎研修	看護師	県社協	さいたま共済会館
	防犯対策について	課長	老施協大里支部	さくらめいと
9月	摂食・嚥下研修会	管理栄養士	熊谷保健所	熊谷地方庁舎
	口腔ケア研修	介護職員	県社協	埼玉会館小ホール
	ターミナルケア研修	介護職員	県社協	埼玉教育会館
10 月	看護職員研修	介護職員	県社協	ウェスタ川越
	認知症介護基礎研修	介護職員	県社協	さいたま市文化センター
11月	認定調査員現任研修	介護支援専門員	県福祉部高齢介護課	彩の国すこやかプラザ
12月	中堅フォローアップ研修	介護職員	県社協	彩の国すこやかプラザ
	事務員研修	事務員	ストレスチェック制度	農業共済会館
1月	新任職員フォローアップ研修	介護職員	老施協	彩の国すこやかプラザ
2 月	非常災害時研修	課長	県社協	彩の国すこやかプラザ
	生活相談員研修	相談員	老施協	さいたま市文化センター

・内部研修

	研修名	対象者	内容
4月	新入職員研修	新入職員	法人理念他、体制や心構えについて
	介護職員記録研修	介護職員	個人記録・その他記録について
5月	接遇マナー研修	全職員	第一生命㈱　接遇マナーについて
	コミュニケーション研修	介護職員	職員間連携、チームプレイについて
6月	身体拘束廃止研修	介護職員	身体拘束の見直し及び廃止について
	運転研修	ドライバー職員	運転技術の確認と、ケースワーク
	リスクマネジメント研修	介護・看護職員	事故分析と管理について
7月	急変時対応研修	介護・看護職員	急変時の対応と責任ある行動について
	褥瘡予防研修会	介護・看護職員	褥瘡予防対策とケアについて
8月	機能訓練研修	介護・看護職員	立位・移乗動作訓練について
	喀痰吸引研修	介護職員	喀痰吸引業務手順・注意事項
9月	感染症・食中毒研修	介護・看護職員	感染症予防全般について
	防災訓練	全職員	通報・避難・消火訓練
10月	認知症介護研修	介護・看護職員	認知症ケアに伴う対応について
	機能訓練研修	介護・看護職員	関節可動域訓練について
11 月	感染症対策研修Ⅰ	全職員	感染症対策（インフルエンザ）について
	リスクマネジメント研修	介護・看護職員	入浴について
12月	感染症対策研修Ⅱ	全職員	感染症対策（ノロウイルスについて）
1月	介護福祉士受験対策	対象者	介護福祉士受験対策講座
	感染症対策研修	全職員	感染症対策実施状況確認と見直し
2月	身体拘束廃止研修	介護職員	身体拘束廃止について
3月	防災訓練	全職員	通報・避難・消火訓練